

# 道の駅整備より 老朽校舎対策を優先して

河合 克平議員



計画を立て教育部局と連携して対応する  
市長

愛西市道の駅周辺整備	
総整備費用	49億円
国庫支出金	5億円
地方債約	40億円
一般財源約	4億円
面積	5.1ヘクタール
道の駅	1.2ヘクタール
都市公園	3.9ヘクタール
利用料	無料
指定管理料10年	859,999,999 (781,818,181税抜) 円

▲道の駅周辺整備後の維持管理費用

**問** 道の駅周辺整備の凍結を求めてきたが、その理由の一つである、不明であった維持管理費は。

**答** 指定管理期間10年間で約8億6千万円を上限とした。

**問** 国が公園費として本市の基準財政需要額に算入している額は。

**答** 令和5年度は3716万円となる。新都市公園の面積増で約150万円増加する。

**問** 佐屋小学校の浸水が発生している。佐屋中学校も雨漏りしているなど早急な校舎の老朽化対策が必要な状況だが、道の駅のこれだけの費用を使い財政的な状況を考えると老朽化対策が長期化して遅くなると考えるが、何を優先するのか。市長の考えは。

**答** 特に道の駅だけ先行させるとか、学校だけを先行させるということではなく、国や県の交付金

等も獲得し、しっかりした計画を立て、学校老朽化対策事業を行う。教育部局と連携して対応する。

遺族に「抗議」は適切か

**問** コロナワクチン接種で急逝した市民の遺族に対し、「寄り添う配慮は今後しない。この件で来庁した時は、建造物侵入罪

**答** 市の代理人から、遺族の代理人に対して、発出する書面であると市は確認をしている。

等で警察に通報する」と書かれた抗議文を出したが、市の知るところなのか。



▲老朽校舎の雨浸水や雨漏